

清新中学校だより 清風

令和4年6月1日
第196号

「自分の感情」に負けない

校長 江戸谷 智章

2010年4月5日に、ケネディ宇宙センターから打ち上げられたスペースシャトル「ディスカバリー一号」に搭乗した、女性宇宙飛行士の山崎直子さんを覚えておいででしょうか。もしかしたら今の生徒たちの中には、スペースシャトルの存在すら知らないという人もいるかもしれません。

スペースシャトルは、アメリカ政府とNASAによって開発された有人の宇宙輸送システムで、1981年の初飛行から2011年の国際宇宙ステーションの完成までに135回も打ち上げられていたそうです。この間、スペースシャトルに搭乗した日本人宇宙飛行士は7人もいて、山崎直子さんは最後の日本人飛行士となりました。

そもそも山崎直子さんが宇宙に興味を持つようになったきっかけというのが、小学2年生で初めて天体望遠鏡をのぞいた時に、月のクレーターや土星の輪っかを直接目にしたことが始まりだったといえます。その日から暇さえあればプラネタリウムに通うようになり、また当時はやっていたテレビ番組の『宇宙戦艦ヤマト』や『銀河鉄道999』、『スター・ウォーズ』なども影響し、宇宙への想いをさらに強めていったといえます(注)。

強い想いは通じるものなのでしょうか。一年間アメリカに留学していた時、たまたまニュースを見ていたらNASAが日本人の宇宙飛行士を募集していることを目にし、彼女は勇んで応募したそうです。しかし書類審査の段階で不合格となり、試験すら受けることもできなかったとのこと。その後、日本に帰国してからも宇宙への思いを捨てきれずJAXA(ジャクサ)に入社を果たすとそれから3年後、運良く宇宙飛行士の再募集があり、二度目の挑戦でその候補者になることができたのだそうです。

しかし、宇宙飛行士の候補者になったからといって、宇宙に行ける保証があるわけではありません。ゴールの見えない中で厳しい訓練を続ける毎日が何年も続いたといえます。さらに、2003年2月、スペースシャトル「コロンビア号」が大気圏に再突入する際に大爆発を起こし、共に飛行訓練をしていた7名の宇宙飛行士が亡くなるという大惨事が起きて、シャトル計画は一時的な中止を余儀なくされ、彼女の宇宙飛行士としての夢もさらに遠のくこととなります。加えて当時彼女は、長女を出産したばかりで、このまま宇宙飛行士の夢を追っていて本当にいいのか真剣に悩むのです。

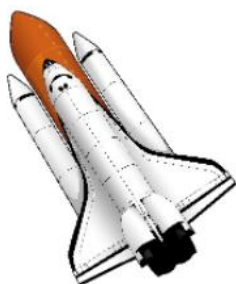
この苦境の中、山崎さんはある言葉に救われたといえます、その言葉というのが、彼女が高校生時代に担任の先生から紹介された以下の言葉だったといえます。

神よ、変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまえ。

彼女はこの言葉を日記に書き残していたらしく、あらためて読み返したときに、人が何かを成し遂げようと思った時、それを妨(さまた)げる一番の要因が「自分の感情」であるということに気づいたというのです。結果、山崎さんは宇宙にいける保証もない中でも、モチベーションを保ち続けながら厳しい訓練に耐え、11年をかけて宇宙飛行士としてスペースシャトルへの搭乗を果たすのです。

すべてをやり尽くしたわけでもないのに、「面倒だ」、「できるわけない」、「こんなの無理だ」などと言って勝手に限界を定めてしまい、もはやどうにもならない事や変えることのできない事に、いつまでも愚痴を言い、それを理由に行動を起こそうとしない(起こせない)自分があったりします(私だけか・・・)。壁にぶつかった時、誰しものが辛く苦しい思いをします。けれどそんな時こそ、「自分の感情」に左右されず、冷静に現状を把握し、次の一步を踏み出すためのわずかな可能性や手立てを見いだし大事にできたらと自分に言い聞かせている私です。

(注)『宇宙飛行士になる勉強法』(山崎直子著 中公文庫)から一部引用



「3つの力を意識した授業の実践」

学習支援部長・校内研究推進委員長 藤原 智生

皆さんは、「清新中学校で身につけたい3つの力」について普段の学校生活の中で意識していますか？「3つの力」とは、「深く考える力」「思いや考えを行動にする力」、「自分に負けない力」です。この「3つの力」は、義務教育を終えて清新中学校を皆さんが巣立つときに、一人ひとりに身につけてほしい資質や能力になります。

私たち教職員の中で、「授業を通して3つの力を身につけてもらいたい」という願いがあります。そこで、昨年度から校内での研究テーマを「3年間で培う力を意識した授業づくり」に設定し、日々の授業研究を進めています。



例えば、授業の発問（質問や問いかけ）の仕方、学習課題の提示の工夫、グループ活動の活用などを通して、授業の中で「深く考える場面」や「自分に負けず最後まで答えを見つけようとする場面」を少しでも生み出せるように教材研究を行っています。「今日の授業の〇〇の場面で、深く考えてみた」「今日の課題難しかったけど、最後まであきらめずに取り組めた」などの感想が、生徒の皆さんから自然と生まれてくるように授業作りを進めたいです。また、教職員間で「授業公開」と「授業参観」を行うことで、授業を受けている生徒の皆さんの様子を観察しています。



私も5月上旬に3年3組で授業公開を行いました。その授業後に、「Aさんは、Bさんに質問することで難しい課題に取り組めていました」「Cさんは、この問題はスムーズに取り組めていました」など、皆さんの授業での様子を把握することができました。この研究がはじまり2年目となりましたが、以前と比べると「授業での皆さんの頑張り」や「個別に行ったアドバイスの成功例」などについて職員室の中でも話題になることが増えたように感じます。

これからも、一つひとつの授業を大切に「3つの力が身についた」と生徒の皆さんに実感してもらえるように学習指導を頑張っていきたいと思えます。

6月の主な日程

※下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

6月 ※月・木は原則諸活動なし

- 1日（水） 教育相談⑤ 心電図検査
諸活動なし
- 2日（木） 教育相談⑥ 諸活動あり
- 3日（金） 教育相談⑦ 生徒総会
- 6日（月） 国際級おはなし会
- 7日（火） 学習相談①
- 8日（水） 学習相談② 避難訓練
耳鼻科検診
- 12日（日） 定期試験前諸活動停止～17日



- 14日（火） 学習相談③
- 15日（水） 定期試験①
- 16日（木） 定期試験②
- 17日（金） 定期試験③
- 23日（木） 歯科検診 体育委員会
- 24日（金） 職業講話（2年）
- 27日（月） 諸費集金日②
- 30日（木） 生徒会委員会



令和4年度 第3学年修学旅行 この経験が無駄にしないために

5月20日～23日、3年生は広島・京都の修学旅行を通して、かけがえない貴重な経験を積んできました。思えば入学当初から積み上げてきた平和学習。その集大成として平和公園で歌い上げた2曲は、どの生徒の心にも深く刻み込まれたものとなりました。



平和の尊さを単なる理念で終わらせることがないよう、身近な人との心の交流にはじまり世界平和をいたるまで、この学習の成果がこれからの日々の生活にどう生かされていくか期待しているところです。保護者の皆様方におかれましては、準備の段階からご協力いただきありがとうございました。